

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
理科基礎教養 Cultural Studies of Science		1年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	選択	(就職試験対策を兼ねる)	無し
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
無し				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
無し				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
小林大輔	講義棟1F	火曜～金曜 (授業、会議時間以外)		授業中に指示します
授業の概要				
採用試験で出題される理科の問題に備えて、理科（物理、化学、生物、地学）の基礎を学ぶ。				
授業の目標				
力学、電気、波動、熱の基本法則を学び、物理の基礎的な問題が解けるようにする。 物質の構造、状態変化について学び、化学の基礎的な問題が解けるようにする。 呼吸、消化、光合成、生態系、体のしくみを学び、生物の基礎的な問題が解けるようにする。 地球のしくみ、宇宙のしくみを学び、地学の基礎的な問題が解けるようにする。				
授業の方法				
解き方の工夫などについて教員と学生間で意見を出し合いながら講義と演習を繰り返す。				
学習の成果（学習成果）				
採用試験で出題される理科の問題を解くことができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス 理科の基礎			
第2回目	物理1 力学			
第3回目	物理2 電流と電子			
第4回目	物理3 波動、熱			
第5回目	物理4 小テスト1と解説			
第6回目	化学1 物質の構造			

第7回目	化学2 物質の状態変化、元素と周期表
第8回目	化学3 無機物質
第9回目	化学4 小テスト2と解説
第10回目	生物1 呼吸・消化・光合成
第11回目	生物2 生態系・行動
第12回目	生物3 脳・神経・内臓・血液
第13回目	地学 大気、海洋、気象、宇宙
第14回目	生物・地学 小テスト3と解説
第15回目	まとめの練習問題と解説
事前・事後学習	事前に配布するプリントに目を通し、用語や公式について復習すること。

成績評価の方法と基準

評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度		加点はしないが、受講態度が著しく悪い場合は減点し、場合によっては退室してもらおう。
レポート		
調査報告書		
小テスト		
試験	100%	評価の基準は以下の通り。 S:90%以上、A:80%以上、B:70%以上、C:60%以上、D:60%未満
発表内容（態度含む）		
その他		

教科書と参考図書

教科書は使用せず、必要に応じてプリントを配布する。

履修上の留意点・ルール

私語は慎むこと。